

アーカイブ Data Report

NO. 115

(2021年4月26日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

デジタルアーカイブの提示活用“沖縄おうらい”の 利活用・還元・運用について

後藤忠彦、加藤真由美（岐阜女子大学）

岐阜女子大学では、2000年頃から沖縄の地域文化資料の収集・保管を集めて、約2万件の映像、戦中・戦後の人々の話、沖縄の芸能文化等についてのオーラルヒストリーが保管されている。これを用いて、沖縄の観光案内“沖縄おうらい”の開発を進め、2011年に高校生の修学旅行用としての活用を展開した。

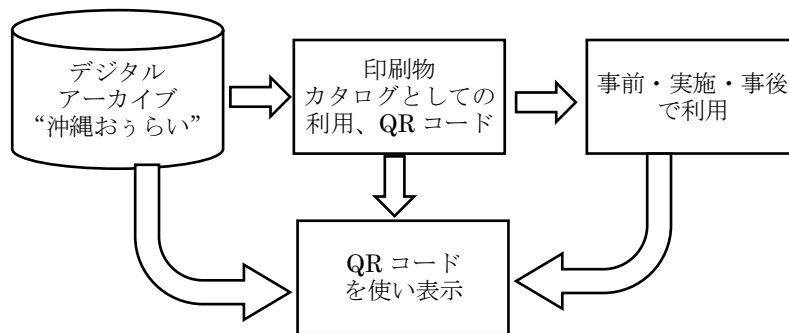
(注)「おうらい」は平安末期から明治まで教科書に近い言葉として使われてきた古語である。例えば、沖縄には、袋中上人“琉球往来”がある。(高校生の皆さん、平安末期、鎌倉時代、江戸時代にどのような往来物があったか、調べてみよう！)

1. 利活用…社会に対応させた開発・活用の必要性

2010年頃に、観光デジタルアーカイブとして開発提供しようとしたとき、大きな課題があった。当時は、“高校によって学校でスマートフォン、情報端末等の利用ができない、禁止されていた”時代であった。

(現在はGIGAスクール構想もあり、社会(学校)の情勢も大きく変わってきた。)そこで、デジタルアーカイブは情報端末で見ると主張しても使われなければまったく意味のないことであり印刷メディアとデジタルメディアの連携を図り、カタログとしての“沖縄おうらい”の出版物を印刷した。この“沖縄おうらい”の出版物には、目次、各領域別で各項目が約1/2ページでカタログ・案内(メタデータと考えてもよい)を印刷し、QRコード、その後ARを使いデジタルデータとの連携を図った。(なお、DA“沖縄おうらい”の中にもカタログが記録されていて、印刷物“沖縄おうらい”を使わなくても利用できる。)





2. 多くの人に使うための運用の計画と実施

デジタルアーカイブを開発したから「使え」の発想では、多くの利活用へ発展させることは現状では困難である。それぞれの分野・領域で、いろいろな利活用に対する課題があり、これをいかに解決、広く利用できるようにするかが運用上の1つの課題である。例えば、“沖縄おうらい”は2011年から毎年1万名以上に使われてきたが、これには社会がもつ課題への対応ができる運用能力が必要である。

また、デジタルアーカイブを利用者に対応した、よりよい構成のコンテンツに発展させるためには、活用者からのフィードバック(還元情報)をいかに収集・保管・整理して改善するかが課題である。

デジタルアーカイブを有効に活用させるためには、提示システムの開発から、利用者に適した活用、広報、還元、改善等の一連の運用計画をいかに立て、実施するかが重要である。各機関で運用計画を立てず、ただ開発に終わったデジタルアーカイブが多いのも事実である。

3. 還元情報の取り扱い

デジタルアーカイブを活用した結果のフィードバック(還元情報)は、改善のためとその活用の推進・発展のためにも必要である。

“沖縄おうらい”では、次のような還元情報があり、これらを収集・整理し、改善や活用の推進に利用している。

1. ID	還元情報を一意に識別するID(半角英数字)
2. 題名	還元情報を示す資料の上位名称
3. 資料名	還元情報を示す資料の名称
4. 分類(分野)	還元情報の分類
5. 場所(地名等)	還元情報の提供者の機関またはその所在地名
6. 緯度経度	還元情報の提供者の機関の所在地の緯度経度
7. 人物	還元情報の提供者の氏名
8. 時代(年月)	還元情報を提供された年月日
9. モノ・コト	還元情報が示す主題
10. キーワード	還元情報に関するキーワード
11. 許認可(利用条件)	還元情報の著作権、プライバシー等の権利処理において許認可を得た利用条件(例 クリエイティブコモンズライセンス等)
12. 還元情報の内容	還元情報の具体的な内容
13. 還元情報の利活用	コンテンツの改善点、追加した付加価値情報や新しいコンテンツ、実践での利活用
14. 記入者	記入者の氏名

(1) 活用結果の評価・改善

沖縄おうらいを活用した結果から、コンテンツの改善、沖縄おうらいの構成の改善(年表、記入表等の追加も含め)等の各種評価・要望を還元情報として受け止め、整理し、必要に応じて改善し、さらにメタデータの関係項目に記入をしている。

(2) 活用方法の情報提供

実際に、デジタルアーカイブ“沖縄おうらい”を活用し、その活用方法として他の人に参考になる情報が提供される。(例えば、沖縄のレシピを観光以外での活用例の紹介)

(3) 活用者が収集・開発したコンテンツの提供

観光で、新しい映像の撮影・コンテンツを作成され、“沖縄おうらい”に必要であれば保管し、他の人の活用に役立てられるように提供される。

このように、多様な還元情報等の提供がされ、これを還元情報集約表で整理しているが、今後、関連データ等の活用へ発展させるべきである。